

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざした介護を目指し、住み慣れた地域で今までと同じ暮らしが続けられるよう一人ひとりを尊重したサービスを提供することを目指している	目標や理念に沿ったサービスを提供できるように取り組んでいきたい
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	施設の長期、短期の目標を設けそれを達成できるように努めている	職員間で十分目標・理念を理解しそれに向けて取り組んでいきたい
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	2ヶ月に一度の運営推進委員会等で施設の内容を話したり相互関係が築けるよう努力している	地域の方に、何をしているところかを理解してもらいやすいように工夫をしていきたい
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出時等での基本的な挨拶また、公園で遊んでいる子供たちへの声かけ	挨拶や声掛け等をおこない理解を得られるように工夫していきたい
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りや、大掃除等相互参加をし、交流を図っている	地域活動への参加の機会がすくないため交流の機会をふやしていく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	話し合いの中で幾つか案が出ているが、実際の取り組みはこれからである		実行に向けて、具体的に計画を立て、取り組んでいきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回は初めてなので職員間で理解をできるようにする		今回は初めてなので十分に理解を深め今後のサービスの為に見直しを図りたい
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状の報告やサービスの向上に向けての話し合いを行い多くの意見をいただいている		頂いた意見をサービスの向上の為に反映させていきたい
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要時には、その都度連絡を取り合っている		必要時にはその都度連絡を取り合っ情報交換を続けていきたい
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	まだ十分に理解できていない部分が多い		今後積極的に研修等に参加する機会を作り、学んでいきたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	起床時や就寝時の着脱介助時や入浴介助時に身体の異常や傷の確認をすると共に異常行動や入居者の心身の変化に目を配り職員間での連携を図り何か問題があれば原因究明し、改善・指導・再発防止に努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明や話し合いを行い了解を得ている		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	その都度意見をもらいそれに対し職員間で話し合いを行っている		今後も対応を続け、サービスの向上に反映させていきたい
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書と共に、連絡表を同封し、1ヶ月の様子を伝えている。また変わったことがあればその都度連絡を取っている		毎月連絡表を作成し、様子を伝えていく
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	その都度意見をもらいそれに対し職員間で話し合いを行っている		意見に対し、臨機応変に対応をとっているまたそれをサービスの向上につなげて行きたいと考えている
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の定例会議で、議題や意見を上げてもらい職員全員で問題・課題に対する意識、理解を共有するようにしている		レクリエーション等の催しごとの担当者の打ち合わせ等連絡ノートを活用
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	その都度話し合い等を行い臨機応変に対応している		定期的な報告以外に必要な応じ経過報告を実施している
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	育児支援制度、メモリアル休暇制度などを設置している。離職せずに働き続けられるように職員間で協力をし合っている。		現場スタッフとの面談など、個別で話し合いをする機会を増やし、状況をより迅速に把握できるようにしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各方面への研修の参加や、新人の育成等に取り組んでいる		外部の研修や施設内での伝達講習また、お互いに指導等を行い質の向上に努めていきたい
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域での会合や、市役所等が、企画、運営する勉強会等に出来る限り参加し、ネットワーク等の強化、向上するようにしている。		市や地域での勉強会への参加の機会を多くとり、情報交換に努め、向上させていきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員が心身ともに仕事がしやすいように風通しのよさを心がけているシフトや業務内容も偏らないように、職員同士助け合うようしている。		職員にも家族、家庭があるのでそれに影響を与えないように勤務のシフトを調整している。また互いの得意不得意を理解し一人で抱え込まないよう全員で協力している。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	得意不得意を各自が自覚し、努力をするよう促すだけでなく、施設のテーマとしている。また、各自が得た知識、技術、体験等も共有するような時間も設けている。		その都度互いに指導しあったりと、一人で抱え込まないよう問題の解決に努めている。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相手から求められたことだけではなく、職員からも提案等を行い、利用者の思いや悩みを共有・共感し、共に少しでも解決できるよう努めている。		インテークの重視。また、早期の問題想定等に努める。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	どんなに小さなことでも理解・安心してもらえるようにしている。時により電話や文書で、状況や経過を知らせるようにしている。		会話の中で相手が言いにくいことともいえるような環境作りの強化と相手の悩みや抱えている問題を明確に出来るよう努める。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族の思いを最優先し、各担当職員、ケアマネを交えてより良いサービスの提供を心がけている		ADLの正しい理解を含め、サービスの内容、提供方法をいくつか用意しておく
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	既に利用されている利用者との距離を少しずつ縮めるために、自己紹介や食事の席を工夫して、利用者自らが行動を起しやすいよう内外の環境作りを個々に合わせて行っている		ゲームや体操、食事作り等、共同作業の更なる有効活用
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が出来ることや、行ってくださることは、極力行ってもらっているまた教えて頂いている		外出や行事などの機会を増やし、一緒に楽しむ機会をつくる
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と小まめに連絡を取り、互いに情報を共有しあい、家族の負担の軽減に努めている。		家族とのコミュニケーションの機会を増やす
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生日や、記念日等の、イベント時に連絡を行い、家族が面会に来やすいようきっかけ作りに努めている。		家族間のより良い関係が築けるように、施設でのイベント時に声掛け等を行い、機会を作って行きたい
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	古くからの友人や知り合いが友達の家に遊びに来るような感覚で面会に来てもらっているまた、友人宅への訪問等も出来る限り行っている		電話での連絡やお互いの行き来など関係を保っていけるような機会を持ち続けていきたい
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	馬の合わない利用者同士でも職員が間に入りお互いの共有できる事柄を模索し、共感共生できるよう努めている		利用者ひとり一人の個性・長所を大切にそれぞれを生かしたプログラムを増やしたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	終了後も連絡を取り状況を確認している		他のサービス等を受け始めてもその後の様子を各関係機関や家族と定期的に連絡を取り合い情報を得るようにしている
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者本人からの希望または家族から馴染みのものや、出来事を聞いて努めている		本人の意思を尊重し、一人一人にあったサービスを提供できるように努力をしていきたい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者が入居する前より職員一人ひとりがアセスメントに目を通し、さらに入居後、本人・家族からどのような生活を送ってこられたのかを聞いていく		アセスメントを十分に取り、今までと同じ暮らしが出来るよう関係を作っていく
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	仕事を始める前に、カードックス、連絡ノートに目を通し利用者一人一人の様子を確認してから業務に入る		気がついたことはすぐに記録し、常に職員が情報を共有できるようにしている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的な担当者会議のほかに、全体の会議を行い、他の職員から情報や意見をもらっている		様子観察期間を明確にし、その都度より良いサービス提供が行えるように記録を小まめにするようにする
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の日々の変化に注意するのは当然であり、何か問題が見つければその都度ケアマネや、関係者・家族と相談し計画の見直しに努めている		利用者の変化に伴い、その都度話し合いを行って対応を考えていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を参考にしながら、利用者の生活パターンや嗜好を確認しレク等のプログラムを利用者に合わせられるようにする		日々の記録や情報共有をはかり、常に対応していきたい
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	まだ十分に理解が得られていない		今後、施設の専門性等を活かし積極的に地域に還元したい期待とします
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に話を聞きに、相談員等が来ている		今後、施設の活性化も含め様々な機関との交流を深めたい
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	その都度、情報交換を行っている		今後も、情報交換等を行いよいサービスを提供できるようにしていきたい
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会などでその都度協力を得ている		必要時には、その都度協力をし合っていきたい
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に、ご家族からの聞き取りを行い医療にかかわる必要な情報を収集・把握し適切な医療を受けられるように支援している		本人の希望に沿った医療が提供できるよう支援していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療機関からの指示を仰ぎ、必要な支援を行っている		医師との関係を密接にはかりすぐに対応できるように努力をしていきたい
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師、医師との連携を図り、健康管理を行っている		医師、看護師に、往診してもらい日常の健康管理を行っている
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力医療機関と連携を取り合い、指示を仰ぎ必要な支援を行っている		常に情報交換や相談を行っている
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約の際に利用者及び家族の意思を伺い、個人の意思を尊重した体制をとり、医師、看護師、等で連携して日常の健康管理を行っている		その都度変化に合わせて家族・本人・看護師・医師との話し合いを行って支援していきたい
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医師、看護師、ケアマネ等と連絡を取り合いながら対応している		医師や看護師と連携を図りその人にあったサービスを提供できるように努力していきたい
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	出来る限りのことはしたいが、より良い生活を提供するために常に家族と本人にとって最適な方法、手段を話し合うようにしている		その人らしい生活が行えるように常に話し合いを行い、1番よい方法を提供できるように努力したい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者個人の情報や記録の管理は徹底している。また声掛け等は利用者がストレスにならないように、気持ちが和むように注意をしている	1人1人を尊重した対応を行って行きたい、個人情報の保管・管理も十分注意していきたい
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が自分の意思を表現しやすいようにアセスメント等で得た情報を元に分かりやすい言葉や具体的な例を挙げて話をするようにしている。	本人の意思やスタイルを十分理解しその人の能力を引き出せるように支援を行って行きたい
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事の時間も出来る限り利用者の意思を尊重している。現在のADLやQOLを少しでも向上・維持できるサービスの提供に努めている	十分な職員数の確保と質の向上を目指しより決め細やかなサービスを提供したい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容・美容に関しては、なかなか希望に沿ったところへは行けず1000円カット等を利用している	本人の希望に沿って行えるように努力していきたい
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週1で利用者のリクエスト食を作ったり、イベント時には、特別メニューにしている。声掛けで一緒に準備・片付け等を行っている	季節を感じ取れるようなメニュー作りや、リクエストまた一緒にメニューを考える等行っている
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコなどは希望時に吸っているが、飲酒は、服薬等の関係もあり提供していない	出来るだけ希望に沿わせたいと考えている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	2～3時間に1回の声掛け、トイレ誘導を行っている		1人1人のパターンを把握しその人にあった声掛けや誘導をしていく
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日、時間等職員の都合に沿っていることが多い		出来るだけ本人の希望に沿うように努力していきたい
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	傾眠の強い利用者には、昼間でもあまり無理はさせず臥床させる等の対応をしている		一人一人の生活のスタイルに合わせた対応を行ってきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	昼食前に、体操を行い、利用者の訴えがあれば散歩や、買い物と一緒にいくこともある		春から、簡単な家庭菜園をと考えている。上手く出来るかは別にし皆で収穫を目標にし、楽しみを作って行きたい
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほぼ職員で預かっている。なくしてしまったり他者に渡すことなどもあり把握困難なため		買い物に行く時などは、自分で財布をもち好きなものを買うようにしている
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や庭の草木の手入れ等に誘ったりしている		日々の買い物時に、一緒に行ったり散髪に行ったりと外出するようにしているので今後も続けて行きたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	各季節ごとに花見やイチゴ狩り等外出の機会を作っている		温泉に行きたいとの希望が多く、何とか実現できるよう計画を練って行きたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば電話をかけたりしている		本人の希望に合わせて今後も行って行きたい
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	友達の家に遊びに来るような感覚で面会に来てもらっている		本人の希望に沿って連絡を取り合えるように支援していきたい
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全員で周知して取り組んでいる		職員の勤務シフト・配置・環境整備等臨機応変に対応し出来る限り拘束を避けて行きたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の希望がない限り居室のドアは鍵をしていない。玄関は、センサーマットを使用し対応している		見守りや、行動に常に気を配り出来る限り鍵を掛けずに対応したい
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各利用者の身体機能や行動パターンを理解しそれに応じた対応を行っている		個々のパターンに合わせて対応を行っている。夜間は1時間に1回ずつ見回り市、様子観察を行っている
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等は事務所で預かっているが、利用者が必要とするときに怪我をしないよう見守りをしている		危険物はなるべくお預かりし、使用時のみ、見守りで使用していただいている
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態に合せた居室作りをしている。本人の趣味等も取り入れ個々の思いを尊重している。事故が起らないような空間作りは、職員と共に行っている		その都度行っており、再発防止等も行っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時・事故発生時のマニュアルを作成しすぐに対応できるように体制を作っている		急変だけでなく日々の変化を具体的に記録し、医療機関と連携し、今後起こりえる出来事を想定しそれに対する対応の仕方等を検討したい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練等はまだ行えていない		地域の自治会、役所、消防警察等の書く関連機関と関係を強化し定期的な災害訓練を行って行きたい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	毎月、書面にて、状況を報告するだけでなく必要に応じて家族に連絡するようにしている		書面で報告する際の内容の充実をはかりたい
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	起床時・午後・入浴前のバイタルチェック以外にも排泄のリズムや量色状態を出来る限り把握し、日常の言・行動のなかにも異変を見逃さないよう心がけている情報の共有も口頭、連絡ノートを用いている		毎日のバイタルチェックや、言・行動の観察等変化を見逃さないよう心がけていきたいまた、ノートの活用や、申し送りで情報の共有を図っていく
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の異変時にはすぐ医師に相談し、指示を仰いでいる		全員が個々に理解できるように対応していきたい。また体調の変化も見逃さないよう気を配って行きたい
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事、水分量のチェックをし、入浴後の水分補給のほかに利用者の嗜好に合わせて提供している		毎日の体操時、1つ1つの効果を説明し、その場で利用者が意識しながら行えるように工夫したい
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアは介助の必要な方には介助し、それ以外は必要におうじて口内チェック等行っている。義歯の方には毎食後手入れ、毎晩の消毒を行っている		毎食後声掛けをして、口腔ケアを促している、また義歯の消毒も行っている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の記録をとり、身体の状態に合わせてトロミをつけたり刻んだりしている		利用者の嗜好などに考慮し本人が自ら食べるよう工夫をおこなっていききたい
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎日施設全体の消毒を行っている、定期的に感染症の勉強会に出席し、新しい情報を得ようとしている		感染症に対する意識を常に持ち行動に移して行きたい
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥、用具の消毒を行い衛生を保っている		常に新鮮な食材を使用したり、用具の消毒、うがい手洗いの強化をしていきたい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	近隣の人に会ったときは、挨拶等を行っている		地域の方に何をしているところかを理解してもらいやすいように工夫をすると共に、出入りしやすい環境、雰囲気作りに努めたい
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や絵を飾ったり、落ち着く音楽を流すだけでなく、浴室他トイレ等一層清潔にするようチェックしている		季節感を感じられるよう、その時々にあったイベントを行ったり目で見え感じられるよう環境を作っていく
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座敷、ソファを使用し、パブリックスペース、セミパブリックスペースを活用している。また足湯スペースもあり日常的に活用している		今あるスペースを有効的に使い、個々のスタイルが守れるよう努力していききたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していたものを、そのまま持ってきてもらい安心して住める部屋作りを行っている		使い慣れたものを使っていただくことでいままでと同じ生活を続けられるよう支援していきたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	適宜行っている、特に冬場は乾燥しないよう加湿を行っている		今後も利用者の体調に考慮しながら行って行きたい
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニバーサルデザインを基本として誰にでも使いやすいような配置や、作りになっている		見守りや声掛け、を行いながら出来ることは自分で行えるよう支援を行って行きたい
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	予想できる行動も把握し、仮に失敗しても、他者に分からぬように、本人のプライドを傷つけないようにしている		個々の個性を大切にしながらサービスを提供していきたい
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	テラスがあり、天気の良い日は外でお茶をしたりしている		庭などをいかして、草木や、野菜を育て、レクにつなげて行きたい

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域での知名度が低いいため積極的に地域活動に参加し、交流の機会を増やすために努力をしています。

日々のレクリエーション活動の中では、毎日体操やゲーム、料理作りを通して、利用者の楽しみや能力を引き出そうと取り組んでいます。またこれまで外出の機会が少なかったので外出の機会を増やす努力を行っています。